

がって試験の成績だけが合格の程度に達していても、他の点が不足している場合には不合格になることもあります。

- 3) 各授業科目について、授業実施回数の3分の1以上欠席した者は、その科目の単位を修得することはできません。
- 4) 不合格になった授業科目を再び履修する場合は、出席、学習作業等その他すべて、当該授業科目を初めて履修する場合と全く同じように要求されます。

3. 履修登録

履修登録は、半期および1年の修学方針を決める上で最も重要な手続であり、単位取得ならびに卒業には絶対に欠かすことのできないものです。もしこれを怠った場合には、たとえ授業に出席し、試験で合格点を取っても全て無効とされるので、掲示、配付書類等に記載されている注意事項を熟読し、慎重に手続きすることが必要です。

1) 履修登録単位数の上限設定（CAP制）について

〔平成26年度以降入学者〕（編入学の場合、平成28年度以降の入学者）

各学期の履修登録単位数には上限を設定しています。これは、初期教育に重点を置き、単位制に基づいた丁寧な教育を実施するためです。詳細は下記のとおりです。

適用学年：全学年

単位の上限：1学期20単位。ただし、当該学期の直前の学期のGPAが2.5以上の者については、1学期22単位。（学生便覧「4. 成績」参照）

英語コミュニケーション学科必修科目である「海外研修」直後の学期の履修登録上限単位数は、「海外研修」の成績（GPA）ではなく、「海外研修」直前の学期の成績（GPA）を基準とする。

（海外研修Aに参加する学生は1年次秋学期の成績（GPA）を、海外研修Bに参加する学生は2年次春学期の成績（GPA）が「海外研修」直後の学期の履修登録上限数の基準となる。）

上限に含める科目：各学科開設科目、共通科目、f-Campus科目、学習院大学特別聴講科目

上限に含めない科目：集中科目（英語コミュニケーション学科の「海外研修」を除く）

司書課程科目、学芸員課程必修科目、

日本語教員養成講座専門科目

単位認定科目（学生便覧「5. 単位の認定」参照）

卒業論文・卒業研究

学習院大学で開講されている教職課程科目のうち「教職課程に関する科目」

2) 履修登録の手順

- (1) 学生便覧（履修要項及び履修規定）、シラバス（講義内容）、授業時間割、前の学期までの成績表等をガイダンス期間中に受領する。
- (2) 既取得の単位数、その年度の履修カリキュラム、自分の受講能力等を十分考慮して半期及び1年間の履修計画を立てる。
- (3) 履修計画に従って授業に出席し、更に検討を加えた上で、指定された期日に各自オンラインで登録する。登録が終わったら、登録画面を印刷し保管する。（控えとなるため必ず印刷すること）
- (4) 本学ホームページ上のオンライン履修登録確認画面にて内容を確認し、印刷した登録画面と照

合する。異議のある場合には、定められた期日までに教務部へ申し出る。 (以上で登録完了)
 ※オンライン履修登録システムの操作方法は、時間割冊子を参照すること。

3) 各自の授業時間割作成上の留意事項

- (1) 卒業に必要な履修規定上の条件を充足させることを優先して組んでいく。
- (2) 同一曜日に授業科目が集中し過ぎないようにする。受講能力の限度を考慮し、所要の自習活動が十分に行えるよう余裕のある時間割を組む。

4) 履修登録上の留意事項

- (1) 履修登録は春・秋年2回実施する。日程等の詳細は、掲示及びホームページで確認すること。
- (2) 登録完了後に履修登録を変更することはできない。

4. 成 績

成績評価方法については、【平成26年度以降入学者】と【平成25年度以前入学者および平成26年度以前3年次編入学者】では異なりますので注意して下さい。

【平成26年度以降入学者】(編入学の場合、平成28年度以降の入学者)

本学では、平成26年度以降入学者より、学生一人一人の授業に対する習熟度を測り、効果的な学修指導に役立てることを目的にGPA制度を導入します。

1) GPA制度とは

GPA (Grade Point Average) とは、各科目の成績評価に一定のGP (Grade Point) を与えて数値化し、その累積に対する平均値を示すものです。これにより、学生一人一人の履修状況が客観的に把握されます。

2) 成績評価基準とGP

評価	素点	GP	評価基準	相対評価による 評価区分ごとの割合
S	90～100	4.0	設定された目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている。	上位10%以内
A	80～89	3.0	設定された目標を十分に達成している。	上位30%以内
B	70～79	2.0	設定された目標を達成している。	上位70%以内
C	60～69	1.0	設定された目標を最低限達成している。	
F	0～59	0.0	設定された目標を達成していない。	
X	評価なし	0.0	試験未受験・出席不良等、成績評価の前提を満たしていない。	
N			修得単位として認定されたもの	

【備考】・履修者30名以上の科目については相対評価による成績評価とします。

- ・学期末試験やレポート等の得点と成績評価は一致しないことがあります。相対評価においては、例えば、試験で90点の評価を受けた場合でも、上位10%以内に入らなければ、S評価となりません(91点以上の評価を受けた者が上位10%を上まわれれば、90点の評価を受けた場合でもS評価になりません)。
- ・学科の必須科目である基礎演習、演習、また履修者30名未満の科目及び語学科目については相対評価の適用外とします。
- ・NはGPAの計算対象としません。